

# 一般会計予算議案に対する討論の要旨

3月26日の本会議で平成30年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各党派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。内容は、各党派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論が行われた順番に掲載しています。

## 賛成討論

### 将来に負を持ち越さない 財政運営と評価する



自民党新国会(所属8名) 吉田 りゅうじ

この度の予算特別委員会では、当初予定通り7日間の日程で、しかも連日遅くとも19時を超過することなく委員会を閉じた点は長い国分寺市議会の歴史上珍しい。これは、行政職員の超過勤務の是正にも繋がる、まさにワークライフバランスの取れた働き方改革である点、委員会運営を含め冒頭評価をする。

#### ▼予算編成について

平成30年度予算は、予算規模については449億5,598万円、昨年比マイナス9.3%、額では46億3,212万円の減である。これまでと同様に歳入・歳出ともに全ての事務事業の経費を「ゼロベースからの積み上げ」により細かく編成されたものの、ふるさと納税による税源の流出や国の地方消費税清算基準の見直しによる交付金の減少などによる大幅な財源不足となり、たいへん厳しい環境下での予算編成であったと推察。結果、財源不足を補う為に財政調整基金から必要最少限の3億379万円を取り崩し計上、山積する課題解決の為には必要不可欠な行為である一方で、市の貯金とも言える基金の年度末残高は庁舎建設資金積立基金40億5,871万円と合わせて計109億8,892万円が見込まれ、今後も着実に積み立てて戴き、有事にも対応できる弾力性を備えるとともに持続可能な安定財政運営を行って戴きたい。

#### ▼政策的事務事業について

まずは国分寺市のランドマークとも言えるツインタワーの完成に伴う事業であり、4月1日に迫ったcocobunjiプラザの開館である。今後、民間活用スペースの動向が課題とも言えるが、一方でリオンホールやリオン広場などネーミングライツを活用してしっかりと入りを図られており、東街区1階に設置する収録スペースでは市報やホームページだけでは伝えきれない市政情報の発信など映像メディアを活用して伝える施策も更に進めて行って戴きたいと考える。次に、既存商店街を活性化し、まちのにぎわいを創出する事業である、こくベジプロジェクトの更なる発展で農商連携をはかり、魅力ある個店表彰事業や地域連携型商店街事業で地域への支援を期待する。

次に、かねてから我が会派の議員が自らの経験を通して熱望をしていた二つの事業である。骨髄移植ドナー支援事業と特定不妊治療費助成事業については、どちらも当該者の経済的負担軽減となる地味ではあるがとても人間味のある事業であり、特に骨髄移植では助成対象期間は東京都の7日間に加え更に市独自で3日を上乘せした点は大きく評価するものである。

他方、社会問題化している待機児童解消に向けた事業では、本年4月と5月、来年2月に認可保育所をそれぞれ1園ずつ開所するとともに既存の認可保育所の定員拡充もあわせて行い、合計183名の定員拡大をはかるというものであり、おおいに歓迎に値するものである。

この他、小・中学校における学習環境の向上を始めとし、観光情報発信力向上の為の公衆無線LANの設置、姿見の池緑地へのトイレ設置、けやきスポーツセンター内体育館への空調設備の設置やグラウンドの人工芝化等スポーツを楽しめる環境づくり事業、予防接種費用助成の対象年齢拡大、鉄道事業者によるホームドア等の整備支援、公民連携による市の活性化と市民サービスの向上等々、市民ファーストと捉えられる事業ばかりが織り込まれている。

また、市民の念願でもあり防災拠点の中心ともなる新庁舎建設については、役所機能としての現状と課題を調査分析するとともに、市民の意見を丁寧聞きながら具体化に向けて進めていくことも含まれた予算であることが確認された。

#### ▼本予算を賛成する結びに

本年は国分寺市総合ビジョン2年目であり、市長2期目最初の大切な年でもある。井澤市長においては社会変化や市民ニーズをしっかりと掴み取り、誰もが安心して住み続けられる、将来に夢を持つことが出来るまちづくりを進めて戴くことを重ねてお願いし、賛成討論とする。

## 賛成討論

### 持続可能な財政運営を担う 人材育成を求める



公明党(所属4名) さの 久美子

平成30年度一般会計449億円、特別会計の268億円という予算規模は、国分寺駅北口再開発ビルの保留床処分金が歳入に135億円計上されていた昨年度より予算規模が縮小しているとはいえ、平成28年度当初予算と比較すると約40億円の増加。これまで同様にゼロベースから見直して予算編成されたことは評価する。しかし、地方消費税の清算基準の見直しに伴い、東京都においては大幅な交付金収入の減が今後も見込まれる。さらには、人口は増えるも少子高齢化の波は避けられず、高齢化率の増加や不可欠な子育て支援施策である民営保育所整備などに伴う扶助費の増加などの要因により長期的にみれば財政にとって厳しい状況は今後も続くといわざるをえない。今後、公共施設の維持・更新等の整備費用、新庁舎建設、3市による可燃ごみ共同処理施設の建設投資費用、社会保障費の増大等、大きな財政需要があることは代表質問でも述べたが、忘れてはならない事項である。ただ、これまで長期的な運用を視野に着実に基金の積み上げを行ってきたことは評価したい。

平成30年度予算は財政調整基金を一部取り崩しての予算編成となったが、今後、大きな財政需要も控えていることから基金の取り崩しが常態化することが無きよう強く求めておきたい。

#### 《国分寺駅北口再開発について》

昭和49年の基本構想策定以来長きにわたった「国分寺駅北口再開発事業」。4月1日のコブンプラザの開館から晴れやかな場が続くが、この間、事業に携わられた方々への感謝を決して忘れないことが肝要。事業は完結したのではなく、更なる全体の発展、地域の活性化を目指し、まずは次の事業である交通広場の整備と地

下自転車駐車場の工事についても、無事故第一、駅利用者や周辺施設の方々への動線などへの最大限の配慮をお願いしたい。また、市民に便利になったと実感いただくためにも、公益フロアに期日前投票所を設置するように要望する。

#### 《ぶんバスについて》

市内の公共交通空白地域の解消、福祉の拡充に寄与する事業。北町ルート、日吉町ルートのルート変更などの検討も始まっている。より多くの市民が利用しやすくするためにも大事な作業となるが、関係者のご理解を得ながら、担当の更なるご努力をお願いしたい。

#### 《子育て支援について》

保育所待機児童の解消に向けて、保育施設整備への積極的な取り組みは高く評価している。合わせて、積極的な民間の児童発達支援事業所の参入・誘致施策を求めておく。学童保育所については、さらなる民設民営学童保育所の誘致をお願いするとともに、狭あい状況の解消に向けては必要とされる方々の入所状況の確認を踏まえ、調査を行う必要があると考える。妊娠期からの切れ目ない支援の「ゆりかご・こくぶんじ事業」の推進、さらには子育て世代支援センターの構築をしっかりとお願いしたい。

#### 《命を守る施策について》

子どものインフルエンザ任意予防接種の費用一部助成の対象を小学校3年生まで拡大、脳血管疾患などの早期発見、予防のための脳ドック検診助成の開始は市民の健康を守る重要な施策で大いに評価。震災時の通電火災を防ぐ「感震ブレーカー助成事業」は対象者、対象地域が限定されるため、丁寧な周知を求める。鉄道事業者によるホームドア等の事業は着実に進め、事業者と協力という点では一定の財政負担もあることから情報収集などの対応をお願いしたい。

#### 《高齢者の課題について》

高齢化率の上昇、認知症患者の増加に伴い、高齢者の見守りは重要課題。地域包括支援センターに設置された見守り相談窓口を今後どう機能させるかが鍵。地域活性化包括連携協定等を活用しながら具体的な取り組みをお願いしたい。井澤市長2期目の平成30年度予算は、各所に細やかな配慮のあるものとなった。市の発展のためには人の力、とりわけ力量が必要である。人材育成に力をいれていただきたい。将来にわたり安心していられるような持続可能な財政運営を行うことを求め、公明党の賛成討論とする。

## 映像配信について

平成30年第1回定例会の本会議で行われた代表質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第2回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信  
QRコード

スマートフォン等で読み取ると  
サイトにアクセスできます!

